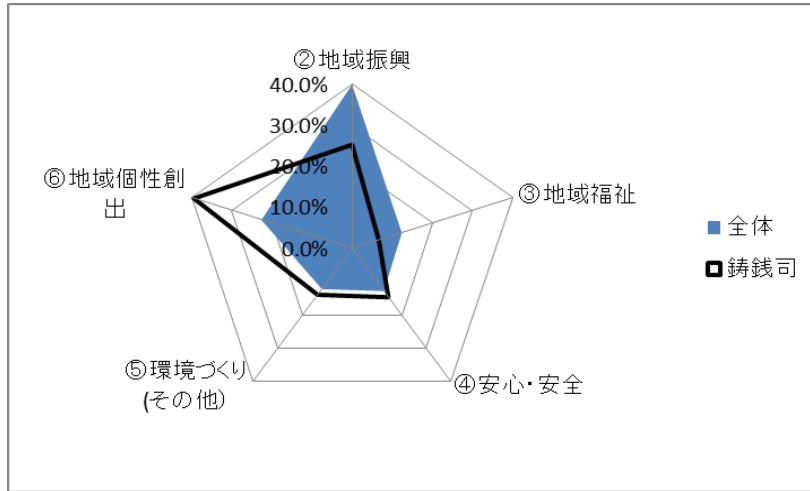


鑄銭司自治会 地域づくり交付金事業概要(平成30年度)

■地域の情報

地域人口	2,928人	自治会数	18
世帯数	915世帯	自治会加入率	82.3%

※数値は、平成31年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	10,350,000 円
交付金決算額	10,350,000 円
その他収入	79,036 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	4,434,986 円
②地域振興	464,990 円
③地域福祉	122,497 円
④安心・安全	269,339 円
⑤環境づくり(土木工事)	4,156,000 円
⑤環境づくり(その他)	255,797 円
⑥地域個性創出、特別分	725,427 円
決算総額	10,429,036 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

■総括

第2次地域づくり5カ年計画の4年目であり、風鎮祭など、第1次計画からの継続事業については順調に実施することができた。新規事業については、地域学習事業として、郷土読本「鑄銭司」の仕上げの年であることから、スケジュール通りにしっかりと仕上げ、地域学習を推進していく。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長・事務員給与、事務費
② 地域振興	地域情報発信事業、地域振興・交流事業
③ 地域福祉	教育・福祉関係事業、健康づくり事業
④ 安心・安全	防犯対策推進事業、防災活動推進事業、交通安全推進事業
⑤ 環境づくり	土木工事(法定外公共物)、環境整備事業
⑥ 地域個性創出	地域資源PR事業、伝統文化の継承 ≪特別事業≫大村益次郎没後150年事業

■重点的に取り組んだ事業

事業名	地域振興・交流事業	決算額	373,524円
①	<p>目的</p> <p>行事の開催により、幅広い層の参加者の確保及び地域住民相互の連携強化を図る。</p> <p>実施内容</p> <p>①単位自治長情報交換会の開催 ②地域行事等の運営の支援 ③地区と企業との交流事業開催</p> <p>実施時期</p> <p>①7月 ②11月 ③1月</p> <p>参加人数</p> <p>①26人 ②1200人 ③63人</p> <p>成果</p> <p>①避難勧告が発令された際、各単位自治会内の住民にどのように対応するのかや、日々の防災活動について意見交換を行った。 ②地区最大のイベントである、ふるさとまつりを開催し、地元企業と地区民相互の交流が図れた。また、祭りの中で地域功労者5名を表彰した。中山間事業の一環として益次郎豆腐を販売した。 ③新年互例会を開催し、詩吟や舞蹈、新産業団地についての説明などで、大いに盛り上がった。</p> <p>評価</p> <p>①自主防災組織が作れていない単位自治会に、防災講座による説明を受けてみようという動きが出てきて良かった。 ②まつりで功労者を広く紹介し、労うことができた。また、益次郎豆腐を販売し、地域の特産品としてPRすることができた。 ③地域内企業と地域住民との交流事業が継続出来ており、地域づくり活動への理解と協力が得やすくなる。</p> <p>今後に向けて</p> <p>①単位自治会の持続的運営強化の為、単位自治会毎に、住民を交えた意見交換を行う。 ②地域づくりに貢献された個人・団体の表彰を続けていく。 ③地域内企業と地域住民との交流事業を継続するとともに、参加企業の拡大を図る。</p>		
事業名	地域資源PR事業	決算額	377,686円
②	<p>目的</p> <p>後世に残すべく貴重な資源を発掘する。</p> <p>実施内容</p> <p>地域行事と資源を載せたカレンダーの制作</p> <p>実施時期</p> <p>3月</p> <p>参加人数</p> <p>780世帯・51社・14施設</p> <p>成果</p> <p>地域行事の予定を記載したカレンダーを780世帯、51事業所、14施設に配布した。</p> <p>評価</p> <p>地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られ、同時に地域内の史跡について若い世代に再認識してもらえた。</p> <p>今後に向けて</p> <p>地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に参画する人の拡大につなげていく。</p>		
事業名	防災活動推進事業	決算額	14,318円
③	<p>目的</p> <p>地域住民の安全確保のための防災意識の向上を図る。</p> <p>実施内容</p> <p>①防災リーダー育成学習会の開催(防災講演会) ②防災訓練の実施</p> <p>実施時期</p> <p>①12月 ②3月</p> <p>参加人数</p> <p>①46人 ②148人</p> <p>成果</p> <p>①「もしもの災害に備えよう」というテーマについて、鑄銭司地域における過去の災害や避難情報の入手等について学んだ。 ②要配慮者に対する避難支援の確認や炊き出し訓練、防災講演会等を実施。</p> <p>評価</p> <p>実際に避難訓練を体験することで、情報伝達や避難経路や危険個所の把握、緊急持ち出し品の確認ができ、これまで以上に防災意識が高まった。</p> <p>今後に向けて</p> <p>防災訓練は5地区全て実施済み。今後、実際の災害に対応できるよう、訓練の精度を上げていく。</p>		